

# サマーセミナー2007報告

梅田 和昇<sup>1)</sup>, 中村 明生<sup>2)</sup>, 村松 正吾<sup>3)</sup>

1) 中央大学 2) 東京電機大学 3) 新潟大学

2007年度のサマーセミナーは、8月28日～29日の2日間、静岡県伊豆の国市の伊豆長岡温泉 えふでの宿・小松家八の坊において開催された。学生の発表は若葉研究会28件、研究討論会1件の合計29件であり、それに加えてチュートリアルセッションでは講師の先生2名に特別講演をお願いした。参加者数は企業7名、大学教員17名、学生38名の合計62名であった。以下、セミナーの概要について述べる。

## 1. はじめに

1992年のスタート以来、第16回目となる今回のサマーセミナーは、伊豆長岡温泉 えふでの宿・小松家八の坊において、8月28日～29日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催で開催されたサマーセミナーとしては、2004年以来、今回で4回目となる。

サマーセミナーの主目的は、最先端の研究者を招いて勉強すること、これから技術開発を担う学生や企業の若手研究者に研究発表と研究指導者（企業研究者や大学教員）との交流の場を与えること、両学会の研究室や研究者同士の交流を図ること、である。

## 2. 開催準備と実施形態

2006年11月から企画を開始した。共催となってからは両組織が交代で主担当になっており、今回は画像応用技術専門委員会が中心となった。以下に示す合同企画委員会を設置し、梅田和昇企画委員長のもと、中村明生幹事（画像応用技術専門委員会）、村松正吾幹事（メディア工学研究会）を中心となって準備を行った。

### サマーセミナー2007 合同企画委員会（敬称略）

#### 画像応用技術専門委員会側

- ・ 梅田 和昇（中央大学、企画委員長）
- ・ 中村 明生（東京電機大学、幹事）
- ・ 渋谷 久恵（日立製作所）
- ・ 中野 宏毅（日本IBM）
- ・ 菅野 純一（ファースト）
- ・ 榊澤 信（旭硝子）
- ・ 藤原 孝幸（中京大学）

#### メディア工学研究会側

- ・ 村松 正吾（新潟大学、幹事）
- ・ 村上 和人（愛知県立大学）
- ・ 青木 義満（芝浦工業大学）
- ・ 佐藤 美恵（宇都宮大学、委員）

優秀な若葉研究会での発表者に贈られる優秀発

表賞については、11名で構成される優秀発表賞審査委員会を設置して審査を行った。例年と同様、審査委員会のメンバー全員がすべての発表を聴講することで公正かつ平等な審査を行った。

#### 優秀発表賞審査委員会（敬称略）

##### 代表会委員

- ・ 梅田 和昇（中央大学、企画委員長）
- ・ 中村 明生（東京電機大学、幹事、採点には加わらず）
- ・ 金子 俊一（北海道大学、画像応用技術専門委員会委員長）
- ・ 上倉 一人（NTT、メディア工学研究会委員長）
- ・ 吉田 俊之（福井大学、メディア工学研究会副委員長）

##### 審査委員（50音順）

- ・ 貴家 仁志（首都大学東京）
- ・ 榊澤 信（旭硝子）
- ・ 輿水 大和（中京大学）
- ・ 角田 興俊（東京電機大学）
- ・ 外村 佳伸（NTT）
- ・ 村上 和人（愛知県立大学）

## 3. サマーセミナー報告

### 3.1 参加者数

参加者数は、企業7名、大学教員17名、学生38名の合計62名（男性57名、女性5名）であった。

### 3.2 チュートリアルセッション

今年度は「画像応用の新たなフロンティア」というテーマのもと、2名の講師の方に特別講演をお願いした。

初日には、大和淳司博士（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）に「人と機械のインタラクションにおける画像技術」という題目で、顔画像追跡の手法ならびにその応用としての対話シーンの解析などをご講演頂いた。手法が大変安定かつ高速に動いており、また対話解析への応用が大変興味深い講演であった。

2日目には、加藤俊一教授（中央大学）に「視覚感性の工学的なモデル化と感性ロボティクスへの展開」と題して、感性とは、さらに感性ロボティクスとは何かということをご説明頂き、さらにその中の画像の応用事例に関しても、先生ご自身の様々な研究を例に示して頂いた。若手の“感性”にも訴えかけるわかりやすく面白い講演で、大変好評であった。

いずれの講演も「画像応用の新たなフロンティア」への指針を示してくれるものであった。お忙しい中ご講演頂いたお二人にはこの場を借りて心より感謝申し上げる。なお、座長はそれぞれ金子透氏（静岡大学）及び貴家 仁志氏（首都大学東京）にお願いした。

### 3.3 若葉研究会および研究討論会

学生の発表は若葉研究会 28 件（プラス 1 件欠席）、研究討論会 1 件の合計 29 件であり、昨年よりはやや少ないものの適切な発表件数であった。座長は、佐藤美恵氏（宇都宮大学）、村松正吾氏（新潟大学）、藤原孝幸氏（中京大学）、渋谷 久恵氏（日立製作所）、青木義満氏（芝浦工業大学）にお願いした。異なる 2 つの学会からの参加者が聴衆であったため、普段とは違った面白い視点からの質問やコメントが多く、発表者・指導教員ともに良い刺激を受けた。

また、最終日には優秀発表賞の発表が行われ、以下の 3 名の受賞者が表彰された。

#### 優秀発表賞受賞者（発表番号順、敬称略）

成田 良太（愛知県立大学）

近藤 和樹（東京農工大学）

高橋 拓也（芝浦工業大学）

### 3.4 懇親会

温泉入浴の後の夕食では、おいしい料理を食べながら、各参加者の簡単な自己紹介も行った。この日はちょうど青木義満氏の誕生日で、研究室の学生一同がサプライズで青木氏にケーキを贈るというイベントがあった。こういうことがあるのも若手を中心に和気藹々とした雰囲気で行われている本セミナーの魅力の一つであろう。

夕食後、宿の中の“クラブ”で懇親会を行った。親密な雰囲気の中、シニアの参加者と若葉研究者との交流が行われた。これまでになかったことであるが、宿が手配して下さった潤沢な飲み物・つまみを楽しみつつ、カラオケでも大いに盛り上がった。シニアの方々の普段は見られない姿は、特に若葉研究者に大きな刺激を与えたことと思う！

### 4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、楽しい雰囲気のうちに無事終了した（図 1）。サマーセミナー準備にあたりお世話になった皆様には、紙面を拝借して感謝の意を表したい。特に、料金設定や会場準備、サービスのコーヒーブレイク、懇親会の手配等で信じられない程手厚く御対応頂いた小松家八の坊の皆様には御礼の言葉もない程である。

次回サマーセミナーは、メディア工学研究会が中心となって開催する。青木義満企画委員長（芝浦工業大学）、中村明生幹事（東京電機大学、画像応用技術専門委員会側）、メディア工学研究会側幹事（未定）を中心に企画し、2008 年 8 月～9 月に開催する予定である。



図 1 サマーセミナー2007 参加者集合写真  
(2007 年 8 月 29 日 えふでの宿・小松家八の坊玄関にて。前列左から 3 人目は女将さん)